

日本と決戦

本と決戦を

太平洋方面戦況の絶対行動上必要とする現在、我大統領に付し今、軍事に困り、捨置け奉る問題を喚起す。

3. ナショナル首相が遠方から平津
我々に理解出来る。然し米国自
体に云々、日本は既に我等の裏門
たるアリューシアン群島に足場を
築き上げた今日、依然として歐洲に
軍事を置くに至つては甚瞭解の
出来ぬ處である。例へ歐洲の事情が荷
熱力は、議会、民衆共に一致した不安で
あり、又要望である。軍事や戦況の
実際に就いて知る事を得ない我民
衆は互に焦燥した感情に成つて囁
き合ひ、時既に遲しき感を抱くに到
つた。過去十八ヶ月間に亘る太平洋
戦争に關する限り、日本は能迄一
攻勢であり、米国並に聯合国側の
基地を漸次占據擴大して来たので
ある。軍事評論家達は最強
敵を向ふに廻る戰つて居るマックアーラー

ダストの夏が過ぎて雨となれば
ぬかるみの冬となる。然しそれは
此がぬかるみに不平と言ふ者は
無い。ぬかるみの中に暮すうす
が毎日の生活の型となつて
仕舞ふ者もある。彼等は
此がぬかるみが、恋するダスト
よりもよりと考へてゐるつて
ある。冬の寒さが愈々煤
るやうになれば、氷がどろを
カバーするからどうの問題は
無くなり、泥道は眞黒
になつて恰もペーブした道路

誤承了祖先

太平洋上の一戦を希望してゐる有様である。我国が事実上、一ヶ月間の飛行機製
産高は六千機以上であり、六百機以上を
爆撃半機が製造されて居るならば、我
太平洋方面指揮官の要求を満たす
配給があるべし筈である。然るにソロモ群島、
島の日本軍の掃蕩場アリエーレー群島、
敵を擊滅出来ない事か、日本軍は蓋々
鞏固な陣地を構築してある事実を
知らばぬと謙虚に居る（ハラサト紙拔抄）

のやうにゐる。斯人を不憚
扶植する生活を續け乍ら
も「東洋かた」などと云ふ
べき一種の精神作用が此、
生活状態を緩和して居る。
例へば、此ミニドカラ一人の画家
に向つて
「どうの中を歩ひて大變な
ことだ……」
と云へば、彼画かきは苦笑して
ガラガラ
「どうぢや無りよ！ マレマニーの
上を歩ひて居るんだよ！
意地張つてゐる。氣温が下
つて、三十二度となれば、此道生
表面が凍つて固くなつて。

第一將軍やケネー空軍指揮官等は決して辭儀掛椅子に寄る居る戰略家には無い。若一此將軍等が机上う戰略家であつたら日本軍は疾くは東洋を席捲して居り、アラスカのバッカー將軍も同様の憂憂目に会つてゐると同時に、海の提督達も進んじ太平洋上の一戦を希望してゐる有様である。我が國が事實上、一ヶ月間、飛行機製造高は六千機以上であり、六百機以上の爆撃半機が製造され居るならば、我太平洋方面指揮官の要求を満たす。配給があるべし筈である。然るにリロモン辯島の日本軍の掃蕩場アリューシャン群島、敵を撃滅出来ない子が、日本軍は益々知らぬは木ぬと諱トニ居る(ヘラルド紙抜抄)

其時此画家はミニドカーテーが
ミニドカーテーは、四十二ヶ呉呂タ
東西三哩に亘る半円形の中にある
ツウインフォールスの北方イリノイ
シヨンカナルと殆ど平行してゐる
尚、ヒューテーはミニドカ用拓地と
して知られてゐる六万八千英加
ウ端にある。如何と申れば此
地域は大ヨ左溶岩が地上に露
出し、全く不毛の土地である。
此廣大な土地の僅かに四分の一
農業に適するが、岩と溶
沃にて灌漑宣一もを得れず、生
みの收穫は得られる。

朝、当兵港日抜きの
交通が突如凍結さ
動車は言はずしが本
大混乱を巻いた。
に原因といふのは、
堂び運行中のサーカス
巨象アシカが裏
ト高牛と出されると
中央にヒカルと象立ち
て無く立った。
朝の朝食不食の
機嫌を損なつた故
使ひの口喧乞氣轉
込ニアワアルテ幾不
覗石海

フクは住居であり、一方は事務所
用。一方は食堂、他二つはリクリエ
ーションホールで、学校圖書
館及教会堂に完結している
。外側がターペード塗装
である。一パラワクは幅二十呎、長
さ一百二十呎あり、二パラワクが四
つ又は五つある。パートメントと成る
である。一家二人は三十呎に十呎
三室、七人の家庭は三十呎三
十四呎のアパートメントが二へん
ある。ある。
○ホーム・装飾用
在日本人

春の名残りつ一度かな
湖一く春は行きにけり
假寝の夢に春行けり
生日毎に伸ばて春惜一む月櫻
柳やうやく丁寧體の首罪先に
ハイ談き春惜一む
まみ左の家の燈の淡く
短かう春の暮着此とけり
自由なた得す春遊けり
此紫に咲く花共体れ
砂に喰ひ入る日の匂ひ
とさし花も見ぬ住居か
春の名残りつ一度かな
青柳 緑苔
一雨 千万
風人